

雄峰の由来
「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」

雄峰

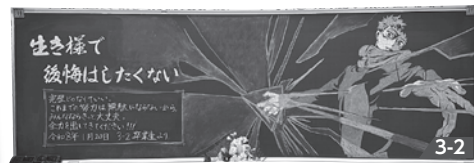
第174号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市都元一丁目20番35号
令和8年3月6日



卒業生から合格祈願のメッセージと黄色いチューリップ

1月20日、昨年附属中を卒業した先輩方が3年生の各クラスに集まり、後輩たちへの合格祈願の思いを込めたメッセージを黒板に書いてくれました。



静思「価値に気付く」

東 佑樹 教頭

「優しい」という言葉聞いたとき、あなたはどのような姿を思い浮かべるだろうか。きっと、気遣いや思いやりのある近しい誰かの姿が浮かぶことだろう。

私自身、「優しい人間でありたい」と常々思っている。だが、実際はそう簡単ではない。心や時間に余裕がないとき、自分のことを優先したい欲に駆られたときは、特に「今の自分、優しくないな」と反省する。

「優しさ」とは「誰かのために、自分の思いや労力、時間を使えること」というのが、私の持論だ。自分に穏やかに寄り添ってくれる人も優しい。自分のために厳しいことを言ってくれる人も優しい。だからこそ、与えられる「優しさ」の価値に気付く力も必要だ。

優しさを発揮できる人、その優しさに気付ける人、どちらも素晴らしい。「優」の字に「すぐれた」の意味が含まれるのも納得である。

入賞おめでとう

<p>【国語】 第四十七回少年の主張鹿児島県大会 優秀賞 二年 藤田 瑠璃 第三十六回KKB硬筆コンク 金賞 二年 藤田 瑠璃 J A 共済書道コンクール 金賞 二年 藤田 瑠璃 第九十三回全国書道展 特選 二年 藤田 瑠璃 第六十八回鹿児島県生徒会 特選 二年 藤田 瑠璃 第二十七回九州かねなへ 特選 二年 藤田 瑠璃 全県中学校作文コンク 佳作 二年 藤田 瑠璃</p>	<p>【数学】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 第四位 二年 山崎 陽太 男子共通走幅跳 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 女子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 女子共通走幅跳 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【理科】 第七十回鹿児島県昆虫・植物・岩 貝の部 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 女子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【英語】 市中文英語スピーチコンテ 最優秀賞 二年 宮元 悠希 奨励賞 二年 宮元 悠希 徳田 優希</p>	<p>【美術】 「家庭の日」作品展 二年 前田 彩希</p>
<p>【陸上競技】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 第四位 二年 山崎 陽太 男子共通走幅跳 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 女子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太 女子共通走幅跳 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【サッカー部】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【吹奏楽部】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【空手道】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>	<p>【バレーボール部】 鹿児島県中学校総体 男子低学年四×二〇〇m 第一位 二年 山崎 陽太 第二位 二年 山崎 陽太 第三位 二年 山崎 陽太</p>

先生の中学時代！

環境を創り、流れに乗せる
三年三組担任 町田 康佑

「本気」の先に残るもの
一年四組担任 前園 清幸

徳之島で過ごした中学生時代は、私にとつて特に濃く、今の私を形づくる大きな財産である。所属した吹奏楽部の練習は華やかなイメージとは程遠く、厳しきそのものだった。練習はきつ、顧問の先生は怖い。逃げたいがその後が恐ろしい。三年間で継続力と忍耐力を身につけた。専門的な指導も受けたが、恩師の言葉や思い出す。「環境を創り、流れに乗せる。」高く跳ぶには、安心して踏み込める固い地面（環境）が必要である。与えられた流れに任せるのではなく、自ら流れを創り、乗せること。その姿勢を、人との関わりを通して厳しく教えていただいた。その学びを伝えたいという思いを抱き二十年が過ぎ、今、私は教職に就いている。私は、あの時に受けたものが、生徒たちにどれほど伝えられているのだろうか。

その時、「結果以上に、全力を尽くす過程に価値がある」ということを私は学びました。勉強も部活も、本気でぶつかった経験は、例え失敗したとしても一生の自信に変わります。今の皆さんにしかできない挑戦を、心から応援しています。



3年生の新しい門出を心から応援します

「卒業生の皆さんへ」

PTA会長 岡部高之資

三年前、少し大きな制服に身を包み、緊張した面持ちでこの門をくぐり、附属中の合唱に迎えられ、不安ながら希望に満ちた、皆さんの姿を今でも鮮明に覚えています。この三年間は、決して楽しいことばかりではなかったでしょう。勉強や行事、部活動などで思い通りにいかない悔しさや、見えない壁に突き当たった日もあったはず。しかし、そのすべてが今の皆さんの「強さ」と「優しさ」を作っています。これから先、皆さんは夢に向かってそれぞれ別の道を歩み始めます。時には自信を失い、立ち止まることもあるかもしれませんが、そんな時は附属中を思い出してください。この三年間での感動、悔しさ、喜びを共有した仲間との絆を。そして、皆さんの後ろにはいつも応援し、成長を喜び、信じ続けてきた、家族、先生方がいます。

皆さんの人生という物語は、まだ始まったばかりです。自分の可能性を誰よりも信じ、一歩ずつ力強く歩んでいってください。皆さんの未来が、光り輝くものであることを心より祈っております。

「覚悟の先に」

三年学年主任 下田 啓介

君たちが挑戦する姿はとても勇ましく勢いがあった。そして、時に大きなうねりをつくり、周囲を巻き込んだ。文化祭で高らかに響かせた、学年合唱「アールデパン」と学級合唱。膝の擦り傷をもとめせずに運動会で行った時間が、君たちをより強く、そして、優しい人間にした。

私は、君たちが三年生になった当初から、覚悟という言葉に常に掲げてきた。人生は選択の連続というが、岐路に立たされたその時、どの道が正解、不正解など、誰も知り得はしない。だからすべてを受け入れ、立ち上がり、動き出すとする自分の器量、すなわち覚悟が必要なのだ。

これからも幾多の試練が訪れるかもしれない。しかし、心を決め、迷いを越えていかねば、それまでだ。覚悟ある挑戦の先に、人間の深みが生まれるのではないだろうか。五年後、十年後、その先の未来でも、君たちがたくさんの人から愛される、強く優しい人であってほしい。

卒業する3年生に「なりたい自分～夢・希望・職業etc～」についてアンケートを実施し、近くで見守ってきた3年部の先生方から「挑戦する君にエールを！」をいただきました。

3年2組

担任 山口 祐介先生
Time is limited,
so don't waste it.



副担任 永田 恵先生
人生は
愛運縁恩

松山 怜愛
たくさんの人を笑顔にできる優しい人

鶴丸 蓮
全体を見渡せるような配慮ができる人

三角 泰智
ノーベル賞を取るような医学者

早川 楓
お客様を笑顔にする美容部員

宮内 彩希
人を喜ばせられるような人

原田 悠月
日本を引っ張っていくような宇宙開発技術者

学級目標

威風堂々とした姿で友と根気強く前進し続ける学級

大塚 楽々
国内外問わず活躍できる起業家

赤崎 愛梨
適切な判断を下し、人を救う薬剤師

岡元 祐久
人々を笑顔にする仕事をする

池田 美海
人の心に真剣に寄り添える医師

尾方 志有
人に尊敬されるような社長

入佐 朋華
観客を笑顔にできるようなPAエンジニア

宮元 咲季
国内外で活躍できるような人

平山 月雫
動物やその子の飼い主を笑顔にできる獣医師

下坂元 凛音
人を幸せにするウェディングプランナー

桑水流 江菜
みんなから応援される女子テニスプレーヤー

喜井 寛之
相手を心から笑顔にできるような人

川野 由里子
2つの命に寄り添える産婦人科医

小野 諒太
相手の身になって考えられる薬剤師

岩重 一尊
人に夢を与える経営者

本 晴杜
人々の役に立つ科学者

福留 啓司
幸せを届けられるようなゲームクリエイター

竹ノ内 快
選手に寄り添えるスポーツトレーナー

幸福 奈那美
人に頼ってもらえることができる仕事人

清松 慶次
冷静な弁護士

川畑 勇之真
失敗をせず完璧に仕事をこなす船舶設計士

覚本 彩香
困っている人を笑顔にする医師

大石 佳子
世界中の国々の架け橋となる総合商社社員

星簇 有紀
たくさんの人を助けられるような産婦人科医

田代 瑛大
どんなときでも冷静なパイロット

坂下 いろは
信頼される幼稚園の先生

久保 孝友
ずっと先の社会の役に立てるような科学者

神崎 颯
元気な中学校の英語教師

河野 太彦
空の安全を守る航空管制官

大勝 太郎
困った人を救えるような医師

3年3組

担任 町田 康佑先生
二兎を追う者しか二兎を獲れず
W優勝・志は常に高くあれ!



副担任 下田 啓介先生
凡事徹底せよ

宮本 創司
思いやりを持ち、色々な病を治す優しい医師

船川 響心
動物に寄り添う優しい獣医

室屋 悠真
安全に運航するパイロット

外園 菜桜
商品の魅力をPRできるメーカー

山下 真虎
沢山の人をわくわくさせられるような漫画家

星原 榮花
スポーツ選手を支えるスポーツドクター

学級目標

自他を燦々と輝かせ上昇気流を巻き起こしながら飛躍し続ける学級

神菌 智彬
信頼される建築家

有留 慶悟
世界の進歩に貢献できる宇宙開発技術者

川上 碧衣
宇宙産業の安全を守り支える宇宙管制官

上野 湊輔
選手の心にも寄り添うスポーツトレーナー

川崎 凛桜那
経済の基盤を支える公認会計士

大城 颯音
釣果をのびし、良さを伝える釣り関係の仕事

柚木 裕太
患者の怪我に寄り添う理学療法士

細山 遥斗
多くの人に寄り添える脳神経外科医

福島 実千花
日本の食と生活を支える農家

中吉 大雅
たくさん笑顔運ぶ航空関係者

知賢 桜菜
絵がうまいイラストレーター

田代 紗和子
患者さんの笑顔を作れる歯医者

坂口 理宇
教養のある素敵な人

岡谷 紗良
周りの人を助けられる優しい人

吉永 虎汰郎
動物に寄り添える獣医師

松田 彩友美
人の話に耳を傾け、支えになる公務員

福田 大樹
動物の命を守り飼主の笑顔を守る獣医師

橋口 愛翔
たくさんの人を笑顔にできる人

津曲 結翔
新しいものを創造する一級建築士

田中 陽
色々な人に対して親切にすることができる人

塩川 心悠
競技者に笑顔で対応できるスポーツドクター

小原 叶和
自分で調べてくれるアナウンサー

吉元 勇仁
日本の第一次産業を支える漁業関係の仕事

宮 優奈
たくさん笑顔を作れるディスプレイアーティスト

藤尾 佳子
安心して過ごすための手伝いができる医師

坂東 愛悠
相手の想いを反映して思いやりのある社労士

内藤 慈温
プログラムも治療もする医療系プログラマー

田平 大揮
選手を支えるスポーツドクター

新里 紗奈子
人に頼られるようなWebコンサルタント

柿元 乙巴
人に寄り添う薬剤師

3年1組

担任 中野 弘章先生
Go Hard for Glory!



副担任 吉原 萌子先生
どんな時も、楽しむ心を忘れずに。

丸野 瑛仁
患者の願いに応えられる薬剤師

長野 心希
患者さんに寄り添える循環器内科の医師

峯元 満櫻
笑顔の架け橋となれるグラウンドスタッフ

西本 航希
頼られる医者

山口 裕斗
患者を笑顔にできる医療関係者

濱崎 結月
子供の気持ちに寄り添えるような小児科医

湯田 和真
誰にでも優しくできるスポーツトレーナー

林 菜凜
みんなを可愛くする美容師

鳥丸 紗希
みんなから頼られる医療関係者

竹迫 和花
患者さんに優しく寄り添う薬剤師

迫 宗次郎
生徒に笑顔で接することができる教師

木下 史都
人を笑顔にできるプログラマー

吉國 幹倅
尊敬され、信頼される教員

堀之口 莉愛
患者さんを安心させるような看護師

中原 優子
みんなを笑顔にするために頑張れる人

籠野 喜一人
人の命を助けて笑顔にできる医師

新里 弥生
多くの人を楽しませるアニメ関係の仕事

木場 南瑛
地域の発展に貢献できるような伝統工芸士

四元 柚珠
周囲の人達を幸せにできる薬剤師

松木 純恋
たくさんの人に寄り添える薬剤師

永野 寿真
みんなを幸せにする医師

龍野 在音
会場を沸かせるハンドボール選手

瀬戸 芭南乃
人から愛される薬剤師

齊藤 大士
社員から信頼される大手企業の社長

加治木 麟
歌やパフォーマンスがうまいアイドル

今出 蒼太
世界中の患者を助けられるような優しい医師

上村 蒼太郎
国際連合に務められるほどの医師

岩永 璃音菜
子供たちを笑顔にできる小児科医

神山 侑万
多くの観衆を感動させるピアニスト

宇根 乙羽
人の笑顔を増やせる医者

川越 聡太
多くの子供を笑顔にする保育士

江藤 ころこ
生徒に好かれる学校の先生

川越 連
生徒とともに青春を楽しむような教師

小川 富貴
信頼されたいような獣医師

神田 菜那
世界で活躍するサッカー選手

折田 麟太郎
人々の架け橋となるような翻訳家

PTA活動この一年 一年間のPTA活動を振り返っていただきました。

総務部

PTA副会長 山ノ内 元治

在校生のステキな歌声が記憶に新しい入学式から早一年、附属中保護者一年目でPTA副会長という重責を担うこととなり、正直なところ大変不安な気持ちでスタートしたPTA活動でした。しかし、外部環境や社会情勢に合わせた持続可能なPTA活動とすべく、皆さまとともに活動したこの一年は、学びの多い素晴らしい機会となりました。至らない点もあつたかと思いますが、一年間務めることができたのは、皆さまのおかげです。ありがとうございました。

PTA副会長 桑水流 佳奈

本年度もPTA活動にご協力いただき、ありがとうございました。PTA活動を展開するにあたり、保護者のみなさまが無理のない範囲で活動できることを目標として取り組んでまいりました。私自身、行事等で学校や保護者とのつながりを感じることができたり他では得られない多くの学びをいただいたりと、PTA活動が貴重な経験となりました。

「守破離」の精神で過ごしてきた一年が、まもなく終わろうとしています。生徒たちは学校の主軸として自主的に活動し、仲間と支え合いながら心に残る思い出をたくさんつくりました。

学年部

三学年委員長 小森園 智美

卒業の日が近づき、感慨深い思いでおります。PTA活動を通して、保護者の皆様と悩みや喜びを分かち合いながら、子どもたちの成長を共に見守ることができたことを、心から嬉しく思います。また、日々子どもたち一人ひとりに寄り添い、温かなご指導を続けてくださった先生方に深く感謝申し上げます。附属中学校のさらなるご発展と、子どもたちの未来が希望に満ちたものとなりますよう願っております。

二学年委員長 江川 さおり

最終学年でも前向きな挑戦を続けてくれることを願っています。保護者の皆様には日頃よりPTA活動へのご協力を賜り、心より感謝申し上げます。これからも笑顔で「おかえり」「よく頑張ったね」と子どもに寄り添い、温かく見守ってまいります。

一学年委員長 上妻 タ子

力強いタンホイザー行進曲に圧倒されながらも、新境地へあふれる夢と希望を抱き、入学したあの日からもう一年です。様々な授業や行事を通し見違えるほど成長した子どもたちは、新入生を迎える意気込みを胸に、頼れる先輩へと変化しつつあります。学びの先にあるもの、その力を養うべく第二学年を有意義なものにしてほしいと思います。最後に、温かく見守りご指導くださった先生方、PTA活動にご協力いただいた保護者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

専門部

研修部長 村瀬 美智子

今年度は「子どもの自立を支える家庭の在り方」をテーマとし、充実した学びの場となるような活動を心掛けて参りました。

視察研修は、甲南高校、樟南高校を訪問し、教育講演会は「思春期の子供たちの多感な心と関わり」を演題にご講演いただきました。これらの活動が、ご家庭においての会話のきっかけとなるとともに、皆様の今後の活動に少しでもお役に立てれば幸いです。ご理解、ご協力を賜りました先生方、会員、部員の皆様により感謝申し上げます。

保健生活部長 脇田 愛

今年度は「心と体を整えて、未来につながる生活習慣」をテーマに活動を行いました。「食事と睡眠」に関するアンケートで生活習慣の実態を把握するとともに、文化祭では食への関心を高めるために「おにぎり弁当の日」を企画しました。また、夏季合同補導活動や研修会にも参加しました。これらの活動が、子どもたちの健やかな成長と安全な学校生活につながることを願うとともに、日頃よりご理解とご協力をいただいている先生方、保護者の皆様へ感謝申し上げます。

卒業記念品紹介

令和七年度卒業生の皆さんから、テントが贈呈されました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

これからの主な予定

- 新形式・始業式 4月7日(火)
- 入学式 4月8日(水)
- PTA総会・学級PTA 4月24日(金)
- 新入生を囲む会 5月1日(金)
- 研究公開 5月29日(金)
- 授業参観・学年・学級PTA 7月上旬
- 前期前半終了 7月17日(金)
- 前期後半開始 8月21日(金)

※今後、予定変更の可能性あります。

3年4組



担任 中山 悠太先生
自分を信じる力が、道を切り開く。

副担任 下田 啓介先生
凡事徹底せよ

松久保 秀斗
向上心をもてる大人

永田 題埜
様々な人を助け、寄り添う皮膚科医

岡部 正惟資
どんな人にも優しく接する医者

石原 佳歩
患者さんに優しくできる看護師

松元 優奈
人を笑顔にできるものをプロデュースする人

永野 あゆみ
多くの患者様を笑顔にする歯科医師

上田平 昂樹
みんなに応援されるプロゴルファー

泉 瑠夏
社会に貢献する会社員

学級目標 全員が主人公となり 未来を創造し勇往邁進する学級

森山 幸菜
患者さんに寄り添い信頼できる医師

根葉 侑季
周りの人を支えられるような大人

河川 玲音
人生の支えとなる医師

今村 空
癌を治せる医者

山岡 絢音
人を助けることができる薬剤師

野上 順翔
生徒に寄り添えるような中学校教員

田淵 結大
優しく子供を見守る保育士

武 璃乃
自ら行動し、解決できる人

相良 杏奈
責任感のある証券コンサルタント

楠生 千瑛
バグの少ないプログラムを組むプログラマー

川崎 梨央奈
多くの子供や家族を笑顔にできる小児科医

入佐 愛華
自分の特技を生かすことができる人

吉見 春馬
人の心を動かせる先生

樋口 鈴
たくさんの動物を救う優しい獣医師

豊賀 奏汰
周りから信頼されるような一級建築士

竹之内 莉奈
患者さんに寄り添い笑顔にできる医療従事者

崎元 春風
人を笑顔にするイラストレーター

越田 悠生
生徒一人ひとりに寄り添える教師

川島 そよ香
たくさんの人を笑顔にできる医師

内村 瑛太郎
患者に寄り添い、周りから頼られる医者

牧迫 一徹
サッカーを通して人々に感動を届ける仕事

中迫 泰志
どんな生物も幸せにする動物園の飼育員

立石 希子
親切な麻薬取締官

園村 祐一郎
プロ選手を支えるスポーツドクター

小園 彩絢
だれかに希望を与えられるような医師

神崎 晴香
美しさを追求し続けるデザイナー

江口 大偉
世界で活躍し子どもたちに希望を配れる俳優

3年5組



担任 岩川 朋之先生
人間万事塞翁が馬

副担任 内野 拓海先生
自分の心を動かして挑戦し、前進しよう!

松下 慶大
周りを安心させる弁護士

日高 圭穂
笑顔で大事にしている放射線技師

大平 颯知
頼りになる経営者

石山 桜子
唯一無二のイラストを描くイラストレーター

森 天音
努力し続ける調理師

平瀬 朔玖
税務のプロとして人々をサポートする税理士

加治屋 舞奈
人の役に立っている心理士

泉 郁羽
誰かのために頑張れる会社員

森山 十
自分の身の回りの人を不幸にさせない人

廣本 絢音
どんな場面でも頼りになる外交官

学級目標 互いに個を尊重し絆と愛で 試練を乗り越えてゆく学級

川尻 伊織
何事も楽しめるような宇宙開発技術者

岩元 葵奈
患者さんを元気づける明るい薬剤師

泰田 花愛
多くの人に愛される小学校の先生

福永 喜大
みんなが楽しめるものを作るプログラマー

名越 鈴
みんなを笑顔にする優しい人

中村 与
世界中で活躍する会社経営者

寺田 優希
信頼されるパイロット

高橋 小春
一つでも多くの生き物を助けられる獣医師

川原 千鶴
薬を通して医療に貢献する研究職

上谷 帝史郎
高い責任感を持つ航空管制官

山崎 陽央
他の人の憧れになれるような人

前園 葵
人を感動させるようなピアニスト

瀨島 蘭丸
人を笑顔にさせることのできる医師

永里 美結
宇宙や生命を研究する宇宙物理学者

友松 愛加里
子供に寄り添える小児科医

多田 凜子
人を思いやる学校の先生

兒玉 翔
効率化を進める農業技術者

内村 優介
人の役に立つソフトを作るプログラマー

米澤 伶香
常に患者さんにベストをつくす循環器内科医

前田 健太
逆境を乗り越え世界を動かす内閣総理大臣

原田 響
世界で活躍するサッカー選手

永濱 愛里
周りの環境に感謝し、思いやりのある獣医師

鳥居 神威
安心できるような気象庁の職員

谷村 光史郎
人思いな教師

小森園 山太
人の役に立つものを作る技術者

大河 彩乃
多くの人を惹きつけられるアニメーター

広報部長 吉井 安子

今年度は「共創し共に高め合い創り上げる未来」のテーマのもと、子どもたちが学校や家庭、社会とつながるきっかけになるような新聞づくりを目指してきました。

新聞作成をする中で、子どもたちの真剣な顔を間近で見ることができ、感動する場面も多々ありました。集団の中で成長していく子どもたちの姿を見ながら、先生方の日々のご尽力に感謝の気持ちと活動ができましたこと心より感謝申し上げます。

保健生活部

親子で取り組む附中生活～食事・睡眠について～

「おにぎり弁当の日」の目的

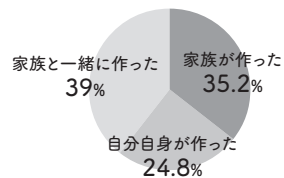
- ①食の大切さを知る
- ②食に対する感謝の気持ちをもつ
- ③自分の食事を自分で準備できるようにする
- ④災害時の粗食にも対応できる心構えを育てる

おにぎり弁当の日

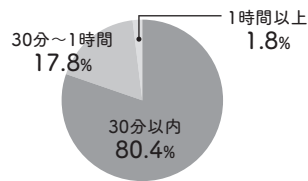
令和7年9月30日(火)文化祭

アンケート実施日:令和7年10月24日～11月7日

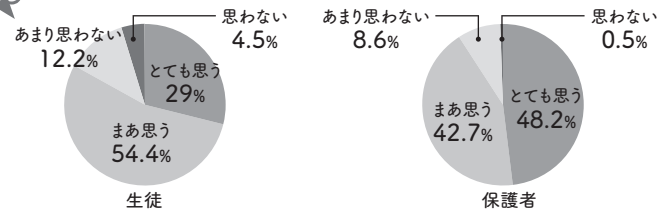
Q1 おにぎり弁当はどのようにして作りましたか?



Q2 おにぎり弁当作りに、どのくらい時間かかりましたか?



Q3 おにぎり弁当の日を実施してみて、よかったですか?



コメント ～生徒～

- 自分で作るとおいしかった。
- 親の大変さ等を知り、日頃の感謝をもっとしようと思った。
- 量がちょっと足りなかった。など



コメント ～保護者～

- 毎日のお弁当のありがたさが伝わったようで、いつもありがとうと改めて言ってくれた。
- 親子で楽しく作れた。など
- 成長期の子供に栄養不足だと感じた。
- 子供に時間がなく、結局親が作った。



令和7年度 西地区学校保健研究協議会 令和7年11月7日(金)

松元中学校の取組では、ライフスキルの啓発のためにパワーワード（前向きになれる言葉、かけてもらって元気になれる言葉）を募集して掲示をしたり、「こころの言の葉」を作成し、保護者が朝の読書の時間に生徒に読み聞かせをしたりする活動があります。思春期という親子関係が難しくなる時期にこのような取組を通してお互いの気持ちの交流を図るのはとても良い取組と感じました。

また、日本ペップトーク普及協会の川添まり子氏による「子どものやる気と未来を育む『言葉の力』」について講話がありました。マイナスイメージの言葉ではなく、プラスのイメージに捉えられるような言葉を変換して使うことを意識する。そのような心掛けができるようになるために、まずは自分自身が心身ともに元気であること、それが子供の心身の健康にとっても大切だということを改めて学びました。

第61回 鹿児島市学校保健フォーラム 令和8年1月21日(水)

東谷山中学校の秋窪祐樹教諭より「部活動における安全に対する取組～キャプテン会議を中心とした実践」について発表がありました。各部のキャプテンが月1回集まり、挨拶やマナーを守れているかを含む17項目の振り返り活動をしたり、運動部だけでなく文化部も活動前に入念な準備運動を行うことでケガの防止に努めたり、グラウンド整備などの安全点検をしたりして、他の部とも情報共有を図ることで、新しい発見や改善点に気づきとても良い取組になった、と発表がありました。

また、鹿児島大学教育学部の黒光貴峰教授より、「世論調査で捉える防災の実践と人の心理を踏まえた学校防災の実践」の講話がありました。「防災は知っているだけではダメ、経験を次の行動に繋げるこそが防災につながる」と教えていただきました。日常に根差した防災を改めて考える機会となりました。

令和7年度 第2回 学校保健委員会 令和8年2月5日(木)

学校医の先生方より、年間テーマに関連し、主に睡眠について指導助言をいただきました。睡眠は脳の成長にも重要で、子供の時に十分な睡眠時間を確保することは、その後の人生においてもとても大切だということを学びました。また、40年以上学校歯科医として携わっていただいた牧角先生が今年度で退任されることとなりました。牧角先生からは、「今の子供たちはとにかく時間がない。よく噛んで食べる。よく噛めるようになることを望みます。」というお言葉をいただきました。

今年度、保健生活部の活動の一環として実施した「おにぎり弁当の日」について、アンケート結果を振り返り、来年度に向けて話し合いも行いました。

先生方や保護者の皆様のご理解とご協力のもと、このような活動ができましたことを心より感謝申し上げます。

研修部

教育講演会 令和7年11月25日(火)

「思春期の子供たちの多感な心と関わり」

講師 鹿児島大学大学院教育学研究科 教授 関山 徹氏



今年度は、思春期の子供たちの心理や変化についてご講演いただき、親としての理解や家庭内での声掛けなどについて、ご参加くださった保護者の皆様が熱心に耳を傾けていました。大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。

残念ながら“魔法の言葉”は存在しない

ある子どもには心にささる言葉も別の子にはプレッシャーになる場合もある。ゆえに、その子どもの背景や関係性(発達段階や人間性、個性など)を理解した上での言葉掛けや関わり方が大切である。

心理的発達のイメージ

乳児期・幼児期・児童期・思春期に分けて考える。それぞれの段階の心を器(容器)で例えると・・・
 「乳児期」・・・完全に外と中の区別がつかないで、親の気持ちが入り込んでいる。
 「幼児期」・・・自分づくりという器作りが始まる。
 「児童期」・・・好奇心旺盛な時期で学んだことを素直に器にためていく。
 「思春期」・・・これまでの学びが器にある為、それを試しながら使ってみる時期。ただ、まだ慣れておらず、ちょうどいい関わり方が分からないため、他者との軋轢が生じたり、トラブルが起こったりする。おおよそ中学生くらいから男女ともに思春期に入り、高校生くらいまで続くことが多い。

思春期の心理

～親との関係の変化～

親(大人)への反抗性・懐疑性がみられ、激しい形をとることもあれば、家族団らんの中にある時間が少しずつ減ってきたり、“ヘッドフォン”を付けだしたりするなど穏やかな形で表現されることも多い。そして、自立心の現れや心理的離乳から親(大人)に頼りたくない心理もみられ始める。

～自分との関係の変化～

ひとりで出来る・出来るようになりたいという、自分らしさ(アイデンティティ)の模索が始まる。親から完全に離れていないのに、理想を追求してしまい、その結果自分に対して厳しくなってしまうなど、理想主義と自意識過剰も挙げられる。そのような変化は、成長の過程で必要なものでもあるが、傷つきやすい心を守って、不登校や引きこもりなど極端な形をとることもあるので注意が必要。その場合はスクールカウンセラー等のサポートを受けた方がよい。

子どもの育て方のイメージ

<思春期以前の育て方：野球>

選手が子ども、審判は親・大人であり、一つひとつのプレーを審判が判定しながらすすめていく(小学生まで)。

<思春期の育て方：サッカー>

反則があった時だけレフェリーが笛を吹く。つまり、フィールド内では自由である。小さい反則は多少見逃し、全体として正しいか判断する。やってはいけない時は注意するので、完全に自由ではない。

思春期以降の育て方・関わり方

- ① 親は介入しすぎず、距離感を取り、子どもの秘密を尊重すること。
- ① ルールを決めて、個々の行動をとにかく言わないこと。→その枠内ならば、適度に泳がせておく勇気が必要。構いすぎると、判断力のつかない子になってしまう恐れがある。
- ① 子どもがつかずいた時には、主体性(自尊心)を尊重したサポートをする(しすぎない)こと。
- ① 中学受験までは二人三脚でOKだが、高校・大学になると主体的に考える力が必要となる為、親もある程度は見守るサポートに徹すること。

最後に・・・

- “perfect mother”でなくてよい!!
生身の人間でも何とかやっているよ。不完全くらいでもやれているよという気持ちで、ほどほどに良い親であることが大事である。
- 困った時に子どもがSOSを出せる環境づくりをする。大人同士が助け合っている姿を見せて、このようなやりとりでいい仕事ができているんだよ!と感じてもらおうのが良い。

質疑応答

- Q 親も子も忙しいので、なかなかコミュニケーションが取れにくい状況。子どもから「大丈夫だから」の一言で返されてしまったりするので、何か良いコミュニケーションの取り方がありませんか?
- A 面白かったことや頑張ったことがあったか、本人なりに気を遣ったところがあったかなどを聞きながら、本人から返ってきた内容を親がなぞるように話したり、その行動を別の言葉でなぞったりしてあげると、本人も少し嬉しいと思います。

アンケート結果から

- 思春期の子供たちの状態が良く分かりました。接し方などを変化させていく必要があることも分かり、とても勉強になりました。そしてグッドイナフマザーで良いと聞いて、救われました。
- お互いが大切な存在なのは分かっているので、程よい距離感を保ちつつ、見守り・サポートしていくことの大切さが心に残りました。
- スポーツに例えた思春期の子供への対応が斬新で分かりやすかったです。

